

MOTUL 998 CHALLENGE 第1・2戦 参加申込書

ドライバー データ			
フリガナ	第1戦		第2戦
氏名			
	受理書の受取人のチェック		受理書の受取人のチェック
住所	〒		〒
電話		携帯	携帯
メールアドレス			
希望ゼッケンNo.	※本年度の MOTUL 998 CHALLENGE に初めてエントリーする方、または再度製作の方は「ゼッケンセット(共通ゼッケン+ステッカー)代金¥12,000+TAX」が別途必要になります。		
ゼッケンNo.について	<ul style="list-style-type: none"> ゼッケンは希望のナンバーを登録でき、一度登録したナンバーは翌年以降も引き続き使用できます。 Mini Jack 998 CHALLENGE のエントリー車両は、そのままゼッケン及びステッカーが使用できます。 本年度のMOTUL 998CHALLENGE に初めてエントリーする方のゼッケンNo.は、3ケタの100番台「100～199」になります。 一定期間参加がない場合、登録ゼッケンNo.は無効になります。 		

車両データ	
年式	西暦 年
車名 またはレーシングチーム名	
サポートショップ	

参加誓約書		年	月	日
<p>私(私たち)は、本競技会規則、国際スポーツ法典、国内競技規則、国内競技車両規則の諸規則に同意します。また協議参加にあたり、関連して起こった死亡、負傷、その他の事故で私(私たち)自身の受けた、また相手方与えた損害については決して主催者、大会役員、係員、雇用者、並びに他の競技者に対して非難したり、責任を追究したりせず、私(私たち)の責任において処理します。事故が主催者または大会役員の手違い等に起因した場合であっても変わりません。またドライバーは本競技について標準能力を持っている事、並びに参加車両についても競技が可能である事を保証します。また本大会の録画、録音、撮影、放送等の権限は、主催者側にある事を承認いたします。ここに証明捺印して誓約致します。</p> <p>※ドライバーが20歳未満の場合は、その親又は保護者の本誓約についての副署名を必要とします。</p> <p>998 チャレンジ実行委員会殿</p>				
ドライバー署名	印	保護者署名	印	

998チャレンジ第1・2戦 参加費 (トランスポーター・サポートカー通行券各1枚)	※別途入場券が必要	28,000円	合計
ゼッケンセット	※初めてエントリーの方 ※再度製作の方	12,000円+TAX 13,200円	

MOTUL 998 CHALLENGE 車両申告書

太線の表内の全項目について、有無のいずれかにマルをつけ、入力欄には正確に記入してください。

項目			技術委員チェック項目	
エンジン型式	有 無	型式()	登録済ゼッケンNo.	ゼッケン
気筒容積	有 無	総排気量()CC		免許証
シリンダーヘッド	有 無	ヘッド厚み()mm		飛散防止
シートカット	有 無			
点火方式	有 無	<input type="checkbox"/> フルトラ <input type="checkbox"/> CDI <input type="checkbox"/> その他()		
キャブレターニードル	有 無	<input type="checkbox"/> 加工 <input type="checkbox"/> 変更		ストップランプ
バルブリフター	有 無			
エアクリナー	有 無	<input type="checkbox"/> 純正 <input type="checkbox"/> 外品クリーナー <input type="checkbox"/> ファンネル <input type="checkbox"/> なし		ウインカー
ブレーキホース	有 無			
ブレーキバックプレート	有 無			前照灯
オイルピックアップパイプ	有 無			
ショックアブソーバー	有 無	メーカー()		シート
ハイローキット	有 無			
ホイールナット	有 無			シートベルト
シート	有 無	メーカー() 固定()点		
シートベルト	有 無	メーカー() 支持()点式		ロールケージ
ロールケージ	有 無	材質() 支持()点式		
ガソリンタンク	有 無	メーカー() 容量()ℓ		牽引フック
フューエルポンプ	有 無	方式() 個数()個		前後
オイルキャッチタンク	有 無	材質() 容量()ℓ		バッテリー固定
サーキットブレーカー	有 無			
車載消火器	有 無	容量()Kg		ブレーキ、クラッチフルードキャップ テーピング
牽引フック	有 無	前() 後()		
ヘルメット	有 無	メーカー()	ヘルメット	
レーシングスーツ	有 無	メーカー()	レーシングスーツ	
レーシンググローブ	有 無	メーカー()	グローブ	

車検委員署名

再車検票

不良箇所	チェック	記事	車検委員署名

MOTUL 998 CHALLENGE 特別車輛規則書

1985年～1991年に生産されたMini1000 ※ナンバー付車輛は出場できません。

	安全上必要、または許される改造及び変更
シリンダーヘッド	最小限の面修正のみ可(ただしヘッドの厚みが69mm以上必要)シートカット及びバルブ摺り合わせは可能
シリンダーブロック	スリーブによる補修加工を認める。ただし、ブロック上面の研磨は認めない
ピストン (詳細は事務局まで問い合わせの事)	MAR製フラットピストン(パーツNo.22463, STD)の使用を認める ただし、ピストントップを0.3mm面研し下記事務局に送付、事務局にて打刻されたものを使用すること
バルブリッター	変更可能
クランクプーリー	純正1300用に変更可能
キャブレター	ニードルの変更及び加工は可能
エアクリナー	取り外しを含み自由(エアファンネル取付可)
オイルキャッチタンク	容量1リットル以上装着義務(金属製でかつ確実に固定しなければならない)
点火系	変更可(同時点火は不可)ただし点火タイミングは機械式制御に限る(バキューム、ガバナー)
冷却系	取り付け部・数・作動原理が変更なければ可能
油圧系	オイルピックアップパイプの変更のみ可能
ブローバイ	ブローバイの取り出しは変更可能
電動ファン及びサーモスタット	取り外しを含み変更可能
マフラー及び排気ガス浄化装置	ダウンパイプ以降の変更可能、ただし消音器は必要(触媒は取り外さなければならない)
サスペンション	ハイローキットの取付及びショックアブソーバーのみ変更可能
ブレーキ	パッド、シュー、ブレーキラインのみ変更可能、フロントバックプレートの取り外し可能
ホース類	ブレーキフルード・オイル・冷却水・燃料のホース類の交換は可能
マウント及びブッシュ類	変更可能(パンプストッパラバー取外し不可及びビロボール不可)
ボディ	1996年までのボディ及び前後のサブフレームの使用を認める(フロントサブフレーム取付部の補強は可能)ただし、右インナーフェンダー、コンデンサーファンの穴は金属のプレートで塞ぐこと。ハーネスはMini1000のものを使用のこと
タイヤ	165/55-12(国内市販ラジアル)のみ
ホイール	純正8スポークアルミホイール(4.5J×12)のみ可能/センターキャップは取り外すこと (ホイールスぺーサーは前後とも5mmまでの使用を認める)
ホイールナット	変更可能
ナブナット及びテーパーカー	強化タイプの使用を認める
ステアリング	変更可能
ステアリングアジャスター	取付可能
車室の隔離	車室と、エンジンルームおよびトランクルームとの隔離の穴は、完全に塞がなければならない (バルクヘッドの開閉部は純正のプレート又は金属のフラットなパネルで塞ぐこと)
内装	フロアマット・カーペット及び天井内張りは取り外さなければならない ただし、ドア内ただしドア内張必要、またフットレスト及びヒールプレート取付可能
室内防音シート(アンダーコート)	剥がしても良い
クラッシュパッド	取外し可能
メーター	メーター及びメーターパネルは変更可能
シート	フルバケットタイプ義務(4点以上で固定の事)助手席シート・リアシートは取り外さなければならない
シートベルト	フルハーネス4点式以上義務(ブッシュバックルタイプは不可)
ロールケージ	スチール製引抜鋼管(外径38φ肉厚2mm以上)6点以上装着義務かつドライバー側のみサイドバーの取付義務
ヒーター/クーラー	取外しを含み変更可能(ヒーターの取付位置変更不可)
灯火類	リアフォグラブランプは取り外さなければならない 灯火類のガラス・プラスチック等は、テープにて飛散防止対策をすること
サーキットブレーカー	取付義務(車室内・外で全ての電源を遮断できねばならない)※スパークシートを貼る事
ボンネット及びトランク	ノーマル(材質変更不可)ただし純正のロック、フックは取り外さなければならない(トランクハンドルは必要、ただしロックは取り外す事)取り外しに伴い、ボンネットピンやスプリングフックなど2箇所以上で確実に固定する事
モール類	ルーフモール及びサイドステップモールは取り外さなければならない
グリルボタン	取付可能
ガソリンタンク	FIA・JAF公認またはJMSAが認めた安全タンクの搭載が2016年シリーズより義務付け (トランクフロアの最小限の改造は許される)
燃料ポンプ	電機式への交換可能
燃料配管	燃料配管を室内に移動させる場合も金属製でなければならない/また室内に一切の継ぎ目があるてはならない
バッテリー	トランクルーム内での移動が可能。確実に固定の上、ターミナルを絶縁する事
ブレーキ・クラッチマスター	キャップが開いたり、フルードが漏れないようテーピングをしなければならない
車載消火器	1.5kg以上必要
牽引フック	前後必要(金属製で内径50mm以上、色は赤又は黄色でなければならない)
車輛最低重量	610Kg(2016年シリーズ第1戦より実施)
ゼッケン・ステッカー	指定のゼッケン・ステッカーを指定位置に貼らなければならない/また、一切の加工・改造は不可 ゼッケン、ステッカー代金(送料別)…フルセット¥5,000、ボンネット¥1,300、ドア1枚¥1,300、Fガラス¥2,000 送料¥700

※上記以外の一切の加工・改造を認めない。

※上位車輛は競技終了後、必ず再車検を行います。

※主催者が安全面等で適格でないと判断した車輛は出走を認めない。

2016年1月 改訂版 MOTUL 998 CHALLENGE 実行委員会

MOTUL 998 CHALLENGE 事務局(担当:秋山) 〒152-0023 東京都目黒区八雲3-26-9 Tel:03-3723-2459 E-mail:bcr@garage-morris.co.jp

MOTUL 998 CHALLENGE レギュレーション / ガイドライン

サーキットの入場、駐車について

- 車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
- サポートカーやトランスポーター用の駐車券も、必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
- 車輛通行証は競技車輛1枚、サポートカー/トランスポーター(駐車券)については2枚配布いたします。

パドックパスと駐車位置

- 競技車輛の駐車位置、および、待機位置については、エントリー種目ごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- サポートカー、トランスポーターの駐車については、北ゲート駐車場を使用して下さい。

その他

- 北ゲート駐車場でトランスポーターより競技車師の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの開催そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- サーキットでは、午前8:00より走行可能という指示となっています。それ以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

受付

- エントラントは指定された時間内に、参加受理証をお持ちになって、コントロール2F(ピット上)で受付を済ませてください。(時間は別紙タイムスケジュールで確認してください)
- 参加申込受付後、お送りする書類一式の中に、参加受理証が入っています。忘れずにお持ちください。

自動計測器(トランスポンダー)

- 計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。また、決勝終了後15分以内の返却にご協力をお願いします。
- 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけください。
- 事故などにより、ドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやサポートクルーが責任を持って返却するようにしてください。

車両検査について

- タイムスケジュールに記された時間内で、車検場を使用して車検を行いません。検査時間開始までに、テーピングなどの準備を完了させ、指定時間に車検場に車輛を持ち込んでください。車検時間内においでにならなかった場合、出走を認めることができません。また、失格になる場合もあります。車輛検査は車検場使用の他に外向車検の場合もあります。

検査の準備箇所について

- ライト、レンズ類へのテーピング(ライトリムまでテープをかける)、バッテリーのプラス端子、ブレーキシリンダーオイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにも、テーピングしてください。ホイールバルンサーはガムテープやアルミテープを使用し、ライトやレンズ類へのテーピングは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは、事務局でご用意しません。
- 一部車輛において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られています。これは飛散防止の意味がありますが、大きな面積になりますので、ガラスでなくとも必ずテーピングをしてください。テールレンズも同様です。これは飛散防止の意味があります。他のイベントではプラスチック類へのテーピングを省略しているから、とテーピングを拒否される方がいますが、その場合、出走を認めることができません。
- ゼッケンは左右のドアと、ボンネットに、確実に貼付けてください。
- 走行が雨天の場合はライトオンの指示が出る場合がありますので、透明のビニールテープを用意して下さい。
- ガソリンタンクは、安全タンクに限る(容量は自由)。

ゼッケン登録について

- 希望のゼッケンナンバーを登録することができます。(3ケタ、100～199番となります。)
- 一度登録されたゼッケンは解除のお申出がない限り、使用し続けることができます。ただし、特例を除き、1年以上不参加の場合は自動消滅となります。
- 希望ゼッケンナンバーがすでに登録されている場合は、他のナンバーへ変更して頂きます。

ゼッケン製作について

- 初めてエントリーされる方、再度製作の方は、共通ゼッケン+ステッカー代 ¥12,000+TAX が別途必要となります。(初めてエントリーされる方は、申込の際に希望ゼッケンを申し出てください。)

ドライバーの心得

- ドライバースブリーフィングには、登録ドライバーもしくは監督が必ず出席してください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走が認められない場合があります。また、当日のみの特別ルールなどがある場合も、ブリーフィングで説明します。
- 体調が優れないなどの場合は無理はせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。
- ドライバー／チーム監督はメカニックやサポートクルー、応援の方など、自己のクルーの行動に責任を持ち、危険な行動や危険な場所に立ち入らないよう、指導してください。また、関係者全てにルールが適用されますので、サーキットへはじめておいでになる応援の方などへもルールを徹底指導する必要があります。自己の仲間のルール違反は、チームの責任となり、チームにペナルティ、または、失格などの処分が課せられます。
- ドライバー／チーム監督はフラッグの色と意味を、記憶、理解している事が必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心掛けてください。
- ご自身以外のチームの方や関係者の方が間違った行動などをとっていた場合、何がいけないのかを教えてください。また、ルール違反を発見した場合は速やかにオフィシャル、または、開催事務局へ報告をしてください。危険行為なども同様に報告をお願いします。

服装

- ドライバーの服装は、2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。
- ノーメックスなどの耐火性のアンダーウェアの着用を強く推奨します。ジェット型ヘルメットを使用の方はフェイスマスクの着用が望ましい。
- 筑波サーキットにおいては、練習会以外の走行時はレーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。

出走前説明の会場について (ドライバースブリーフィング)

- ブリーフィングルームにて行ないます。ドライバーは必ず出席をしてください。

決勝のスタート方法について

- 決勝スタート時、ピットクルーやメカニックの方はサインガードよりピット前へ退避してください。
- 基本的にスタグガースタートとします。
- グリッド整列時はエンジンを停止させてください。
- 1分前表示、または、エンジン点火表示にて、エンジンをスタートさせてください。
(オフィシャル以外のコース内進入を禁止します)先頭車がホームストレートに戻った時点で押しがけは中止。また、その不動態は失格とします。
- グリッド整列時には、サポートクルーやメカニックの方がご自分のチーム車輛誘導を行なうようご協力をお願いします。

ピットレーン進入について

- ピットレーンへの進入は右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入口より進入します。本コースからのイエローラインカットはペナルティの対象になります。
- ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックをすることができません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、そのチームは失格となります。
- 走行路は、1番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
- ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、手持ちの傘などを使用することはできません。

ピットレーン制限速度について

- ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度は、筑波サーキットは40Km/h以下とします。速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

ピットガレージ内について

- ピットでの作業において、エアージャッキ、エアインパクトレンチ、電動ジャッキ、電動インパクトレンチなどの自動工具の使用はできません。全て、マニュアルでの作業としてください。タイヤへのエア注入、ホイールを外すためなどのインパクトレンチの使用は認めます。(ホイール装着などはマニュアル作業とします)
- ピットは共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ピット内において、高音、高熱を発生する機器の使用は禁止します。
- ピット内は火気厳禁です。喫煙などは灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。
- ピット内に搬入した競技車輛はキーをつけたまま、ドアをロックしないでください。

パドックについて

- パドック内において、車輛テスト(ブレーキテストやウォームアップなど)は絶対に行なわないでください。全ての4輪車輛、2輪車輛は最徐行を義務とします。
- お子さんの単独での乗り物の使用は全面禁止です(キックボードやローラーシューズなども含む)。
- 大人が乗物(自転車やスクーターなど)を使用する場合、最徐行を義務とします。
- パドック内は全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースをお願いします。お料理などを行ないたい場合は、消費電力を考慮した上で、ホットプレートや電磁調理器をご使用ください。電熱器、カセットコンロ、ガスバーナー、バーベキューなどの炭火、裸火は一切使えません。
- パドック、ピットを含む施設内において、お子さんの手は保護者の方が絶対に離さないようにしてください。お子さんの行動に関する指導、責任管理は保護者の方の義務とします。パドック、ピットは競技車輛が分刻みで移動をくり返します。大変危険な場所であるということを認識してください。また、お子さんに何が危険であるかを教えてあげてください。

ゴール表彰について

- フラッグタワーより、チェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストで旗を静止表示します。スピードを落として、ピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止です。
- ダブルチェッカーは失格になりますので、くれぐれも気をつけてください。また、オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません。
- 表彰はメインスタンド前コース上で行います。

ペナルティについて (主催者の注意により、実行されない場合もあります。)

- ※ 予選で以下に該当した場合、予選タイムにかかわらず、決勝時は最後尾スタートとします。
- 走行中、オイルの吹き出しなどにより、コースを汚すなど、競技に影響を与えた場合。
- 車輛異常、コースアウト、接触など、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
- フラッグ無視、または気がつかなかった場合、ダブルチェッカーを受けた場合。
- 危険走行とオフィシャルが判断したドライバーもペナルティの対象となる場合があります。
- その他、本規定書に設定されたものに違反した場合適用します。

その他注意事項について

- その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- スプリントについての約束は別紙になりますので、よくお読みになってください。
- 車両より降ろした荷物などは、各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルでは責任を負うことができません。イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡をしてください。
- バドック内やコース上においての人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- バドックやピットレーンには、エントラントの応援の方や、小さなお子さんもいらっしゃいます。ピットレーンは制限速度を厳守し、バドックでは最徐行が義務であると心がけてください。
- ガードレールなどサーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をいただくこととなりますので気をつけてください。
- ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。